



笠松小だより

令和3年4月26日(月)
第2号
笠松小学校長 樋口敦子
電話 058-388-0101

自分から進んで行動し 思いやりがあふれる 笠松小学校に！



4月14日(水) 令和3年度前期児童会の委員長や代表委員の認証式を、今年度もテレビ放送を通して行いました。それぞれの委員長は、願いを書き、どんな姿を目指していくのか、堂々と語りました。

最初にくすのき委員長から、今年の笠松小学校のスローガンに込められた2つの願いについて語ってくれました。

一つ目は「思いやりの気持ち」をたくさんもってほしいということです。思いやりはいろいろな場面で伝えることができます。例えば学級の中でも友達への声掛けです。思いやりのある声は、自分も相手も嬉しい気持ちになれます。笠松小が、そんな思いやりの気持ちでみんなを大切にできる学校になってほしいという願いが込められています。

二つ目は「自分から進んで活動する」ことです。笠松小のみなさんは自分がやるべきことをやりきることができる人がたくさんいます。しかし、自分から進んで取り組もうとする人が少ないように思います。自分から挨拶をする、自分からボランティアに行くなど、自分から進んで行動してほしいという願いが込められています。

6年生を中心に児童会の活動を通して、目指す姿に近づいていけるよう、支援していきます。ご家庭・地域でも、「思いやり」「自分から進んで」の姿を価値付けていただけるとありがたいです。

4月16日(金)「1年生を迎える会」 温かい心が広がりました

笠松小学校では、1年生から6年生までの異年齢の子どもたち13～14人で、たてわりのグループを作っています。6年生が全員リーダーとなります。1年間、たてわり班として、たてわりあそびや掃除など、様々な活動をしていきます。上学年が下学年を思いやり、お互いに助け合い、自分の役割を果たしていきます。今年は、1年生を迎える会を、たてわり班ごとで行いました。各教室から、1年生を温かく迎える様子が伝わってきました。



6年生と一緒に、アーチをくぐってたてわり班の教室に移動しました。1年生はやや緊張気味でしたが、うれしそうな顔でした。



たてわり教室では、1年生を2～5年生が拍手で迎え、歓迎の言葉を言いました。1年生は、同じ班の上級生と対面しました。



たてわり班のなかまが仲良くなれるように、6年生が遊びを考え、遊びを行いました。各教室から、楽しそうな笑い声が聞こえていました。